

米里中学校



Thanks Mail

永田文化服装学院 様

永田先生や他の先生方に色々教えてもらったので、素敵な箸入れを作ることができました。
私は、これから色々あるかもしれませんが、院長先生に教えていただいたように、笑顔でにこにこしながらがんばります。それから、姿勢も正しくきちんとします。結婚はするかわかりませんが、よい人を見つけれればいいなと思います。
素敵な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

2年 O・A

永田文化服装学院



ミシンを操作して箸袋作りと刺しゅうにもチャレンジ

「おしゃれな服が大好き！」という美術部所属の女子11名が訪れたのは、服作りに関する基礎から応用まで教えてくれる「永田文化服装学院」。これだけたくさんの女子生徒が集まると、おしゃれでにぎやかな雰囲気を連想しますが、意外や意外。ミシンの操作や仕事の姿勢に厳しい先生の指導に、やや緊張気味の様子です。それでも、初めてミシンを使って作った箸袋は「さすが美術部の生徒さんたちね。センスがとってもいいわ」と褒められ、みんなはとてもうれしそう。自分が選んだ好みの生地に、イニシャルが入ったオリジナルの箸袋は、いい記念品になったようです。

午後からは、少し高度な、刺しゅうにも挑戦しました。コンピュータ制御の刺しゅう機能付きのミシンを使った刺しゅうで、操作に慣れると、とてもきれいに仕上げることができるのです。生徒

たちは代わる代わるミシンの前に座り、少しずつ刺しゅうを形にしていきました。「うちにもミシンはあるけれど、触ったことがないんです」と口を揃える生徒たち。この学院では、ホテルの衣装部で扱うウェディングドレスや、映画で使う衣装なども注文を受けているそうです。生徒たちもこの日の体験をきっかけに、服作りにさらに興味を持ってくれるといいですね。



株井関楽器



売った後からのおつきあいが長い、楽器店というお仕事

プロ仕様から練習用まで数多くの楽器を揃え、レンタルルームや音楽教室を併設している「井関楽器」。海外有名メーカーのピアノを扱っていることでも知られています。ここをでっち奉公の職場に選んだ、女子生徒2名。初めに教えていただいたのは、ピアノの調律です。調律師の方が手際よく分解していき、見たことのないピアノ内部があらわになると「わあ、こんな構造になっていたんですね」と、驚くばかり。実際に、音の調律も体験させてもらいましたが、音の微妙な違いを耳で聞き分けるのはなかなか難しく「プロの人はやっぱりすごい！」と感心しっぱなしです。弦楽器のコーナーでは、楽器の大きさによって音の高さや音質が異なることを学び、バイオリンのチューニングにも挑戦しました。音を合わせるために弦を巻くには意外なほど力が必要です。でも、力を入れ過ぎると弦が切れてしまいます。2人とも汗をかきながら音を

合わせていたのが印象的でした。

「私たちはお客様と楽器をつなぐ橋渡し役。だからこそアドバイスや質問にもきちんと対応できるように、常日ごろの勉強は欠かせません。それに、楽器を売った後も修理や調整に来られる方がたくさんいますから、何より誠実な接客が大切なんですよ」と話すスタッフの方の言葉にうなずく2人。楽器を扱う人の技術力と心得をしっかりと感じ取ったようです。



株白石ゴム製作所



モノ作りの大変さと楽しさを体験した貴重な1日

「やっぱり男の子だから、ゼロからモノを作り出す製造工程に興味があります」という男子生徒3名が訪れた「白石ゴム製作所」。一般家庭や各種施設の入り口に敷いてある、ノンスリップマットや融雪マットをはじめ、大きな工事の現場施工や大型設備などにも欠かせないゴム製品を、製造・加工している会社です。意外なところにゴム製品がたくさん使われていることを知った3人。幅広い用途に、ゴムに対する認識を新たにしたいようです。

このでっち奉公のメインは、廃材のゴムを使ったオリジナルのペン立て作りです。初めに安全講習をしっかり受けてから実作業に取りかかります。プレス機で型抜き作業をやり、木型を当ててカッターで切り出して形を整えていきます。ですが、慣れないせいもあってか、接着剤が手に付い

たり、はみだしたりして、なかなか思うようにいきません。それでも社員の方からアドバイスをいただきながら、なんとか最後まで仕上げることができました。「初めは、もっと簡単だと思っていたんですけど、案外難しかった。でも楽しかったです」という横顔に、満足感が表れています。何もないところからモノを作り出す大変さと楽しさ。その2つを同時に味わえた、貴重なでっち奉公でした。

